



ゲーム

子ども応援団事業 Part 6

好きから未来が見える

—若者の経験値を上げる

社会サンカクの場づくり—

『若者や子どもたちは人と社会とつながりたいと思っている。』

さあ、大人は何ができる？

居場所を見つけた若者たちが、社会参画したいと思うようになる
サンカクシャの寄り添い方とは？

前半はサンカクシャ代表の荒井さん実践についてお話し頂き、
後半はパネリストも交えて我孫子の若者や子どもたちの「今」と
「これから」について語り合います。



サンカクシャ代表
荒井佑介さん

2022年9月25日(日)13:30-16:20

スリッパを
ご持参ください

我孫子南近隣センターホール(けやきプラザ9階、JR我孫子駅南口徒歩3分)

入場無料 会場70人・Zoom100人予約優先

お申し込みは右のQRコード、または下記のお電話で →

お問い合わせ 04-7165-4370 (あびこ市民活動ステーション)



* 市民のチカラまつり2022 同日開催 *



主催:子ども応援団事業実行委員会、あびこ市民活動ネットワーク、あびこ市民活動ステーション
後援:我孫子市教育委員会

特定非営利活動法人



(サンカクシヤのHPより)

サンカクシヤは、学校や社会に馴染めない15～25歳ぐらいの若者が、社会で生きていくために、経験値を獲得できる機会を作っています。人とつながり、自分を応援してくれる人と出会う「タマリバ」と何かにチャレンジするための「サンカク」の機会を作り出し、若者の経験値が上がるように応援しています。また、地域や企業の大人もこの活動に「サンカク」し、人とのつながりを活かし、共に生きていくコミュニティになることを目指しています。



「知らない人と会うのが怖い」「活動に参加するのが不安」など活動に参加することへのハードルを感じる若者には、職員が個別で会い、寄り添います。若者に「届く支援」を大切にしています。



若者が素の自分でいられて、自由に過ごせる居場所を都内3拠点で運営。あたたかいごはんがあり、好きなようにくつろげる一方で、人と繋がり、社会「サンカク」するきっかけも得られる場です。



地域や企業の人との交流や、働く体験、働き続けるを支えるプログラムなど、社会「サンカク」につながる体験と挑戦の機会を用意。他にも親を頼れない若者へ居住支援も実施しています。



社会的自立へ

パネリスト紹介



遠藤美香さん
我孫子市教育相談センター 所長

どこにいても子どもファースト。子どもたちが我孫子市で育ってよかったと思えるような仕事をしたいと思っています。

鈴木将人さん
我孫子市子ども相談課 課長

相談をしてくれた子が、10年後に笑って過ごしていて、生きていて良かったと感じられる人生を歩んでいてくれたら良いな。この思いを持って相談をうけています。



コーディネーター
関口隆彦さん
多機能型事業所 エール我孫子

いま我孫子で暮らしている子どもが、大人になっても「我孫子が好きなんだ」と心から思える街であって欲しい。この気持ちから我孫子で子ども・若者に関する活動をしています。

子ども応援団事業実行委員会

■ 実行委員

- 青空の会(我孫子)
- 大人たちから変わろうの会
- かしわ地域若者サポートステーション
- 子どものSOSソングライター 悠々ホルン
- 就労継続支援B型事業所 みんなの広場「風」
- 千葉県スクールソーシャルワーカー
- 認定NPO法人東葛市民後見人の会
- 我孫子市教育委員会教育相談センター
- 我孫子市子どもの学習支援ネットワーク

■ 事務局

- あびこ市民活動ステーション
- あびこ市民活動ネットワーク
- (五十音順)